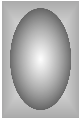


INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



第33回内藤記念科学振興賞候補者推薦要項

趣旨

人類の健康の増進に寄与し得る自然科学の基礎的領域における進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対してほう賞を授与するものである。

候補者資格

- 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を上げた研究者。
- 2) 候補者は単独とするが、異なる研究グループによる共同研究の場合には、連名であっても良い。
- 3) 候補者の再度の推薦は差支えない。

推薦者

- 1) 下記27学会の代表者

| | |
|-----------|----------|
| 高分子学会 | 日本生物工学会 |
| 日本遺伝学会 | 日本生物物理学会 |
| 日本ウイルス学会 | 日本生理学会 |
| 日本栄養・食糧学会 | 日本動物学会 |
| 日本解剖学会 | 日本農芸化学会 |
| 日本化学会 | 日本発生生物学会 |
| 日本癌学会 | 日本ビタミン学会 |
| 日本細菌学会 | 日本病理学会 |
| 日本細胞生物学会 | 日本物理学会 |
| 日本獣医学会 | 日本分子生物学会 |
| 日本植物生理学学会 | 日本免疫学会 |
| 日本神経科学学会 | 日本薬学会 |
| 日本神経化学会 | 日本薬理学会 |
| 日本生化学会 | |

- 2) 当財団の役員および評議員

推薦件数は、1推薦者につき1件

推薦方法

所定の用紙(候補者推薦書、候補者概要、通知用シール)に必要事項を記入し、当財団あて送付する。

締切日

2001年10月1日までに財団必着

選考方法

選考委員会で審査し、評議員会の同意を得て、理事会で採否を決定する。採否の結果は、2002年2月に受賞者本人および推薦者に通知する。

ほう賞の贈呈

2002年3月20日に開催する内藤記念科学振興財団の贈呈式において、内藤記念科学振興賞(正賞:金メダル,副賞:300万円)を贈呈する。

その他

- 1) 候補者推薦書は、できるだけワープロでご記入下さい。(切り貼り可)
- 2) 推薦書は両面コピー、本通知シールは、同型のシールで申請しても結構です。
- 3) 学会推薦の場合は、学会の公印を捺印ください。

問い合わせ先

財団法人 内藤記念科学振興財団

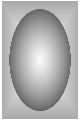
113 0033 東京都文京区本郷3 42 6

NKDビル8階

TEL 03 3813 3005 FAX 03 3811 2917

URL <http://www.naito-f.or.jp/>

E-mail info@naito-f.or.jp



第33回(前期・後期)内藤記念海外学者招へい助成金

趣旨

人類の健康の増進に寄与し得る自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助するものである。

申請者資格

- 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学会組織委員長

- 2) 招へい時期が下記の期間内であること

| 招へい時期 | 申請区分 |
|-----------------------|------|
| 2002年1月1日～2002年6月30日 | 前期 |
| 2002年7月1日～2002年12月31日 | 後期 |

推薦者

- 1) 大学関係

総合大学...大学院：研究科長，学部：学部長，
研究所：研究所長

単科大学...学長

注) センター長，施設長，病院長は推薦者となることが出来ない。

- 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者

- 3) 当財団の役員及び評議員

- 4) 当財団の指定した学会の代表者

推薦件数は1推薦者につき1件

申請方法

所定の用紙(申請書，申請者概要，通知用シート)に必要事項を記入し，当財団あて送付する。

締切日

前期：2001年6月1日，後期：2001年10月1日
(いずれも当財団必着)

選考方法・採択件数

選考委員会で審査し，評議員会の同意を得て，理事会で決定する。

採択件数：前期・後期各10件

採否の結果は，前期：2001年10月，後期：2002年2月に本人および推薦者に通知する。

助成金の送金方法

前期：2001年12月，後期：2002年6月に内藤記念海外学者招へい助成金(上限50万円)を送金する。

所定用紙の記入方法

- ・候補者推薦書はできるだけワープロでご記入下さい。(切り貼り可)
- ・推薦書は両面コピー，通知用シールは，同型のシールで申請しても結構です。

その他

- 1) スポンサーについて：当該学会で海外学者による招待講演が行われる場合は，プログラム等に当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記下さい。なお，プログラム等を一部お送りください。
- 2) 結果報告について：組織委員長は当該海外学者招へい学会等が終了後1ヶ月以内に所定の用紙にてご報告下さい。
- 3) 招へい学者の来日中止の取扱について：助成金を返金していただきます。また代理の招へいに充当することはできません。
- 4) 同一年度の同一学会に招へいする場合の採択は1件とする。

問い合わせ先

財団法人内藤記念科学振興財団

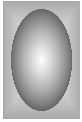
113 0033 東京都文京区本郷3 42 6

NKDビル8階

TEL 03 3813 3005 FAX 03 3811 2917

URL <http://www.naito-f.or.jp/>

E-mail info@naito-f.or.jp



千里ライフサイエンスシンポジウム

「感染症 21世紀に持ち越された人類の課題」

日 時：平成13年7月17日（火）

10：00～17：00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル
5階ライフホール

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

協 賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター
コーディネーター

大阪大学大学院医学系研究科教授 山西弘一

大阪大学微生物病研究所教授 堀井俊宏

プログラム

1. 新型インフルエンザの出現とその対策

東京大学医科学研究所感染・免疫大部門教授

河岡義裕

2. C型肝炎ウイルス感染による症状と発症の機序

神戸大学医学部微生物学講座教授 堀田 博

3. エイズ発症の個人差とそれを決定する宿主因子

大阪大学微生物病研究所教授 塩田達雄

4. 地球規模でのマラリア問題とその対策

大阪大学微生物病研究所教授 堀井俊宏

5. 再び流行の兆しを見せる結核の現状とその対

策

大阪府立羽曳野病院院長 露口泉夫

6. 院内感染をめぐる薬剤耐性菌感染症の現状と対策

順天堂大学細菌学教室教授 平松啓一

参加費（講演要旨集含む）：3,000円（会員〔大学・官公庁職員，財団の賛助会員〕）；5,000円（非会員）；1,000円（学生）

定 員：300名

申込方法：氏名，〒所在地，勤務先，所属，電話

およびFAX番号を明記の上，郵便，FAXまたは電子メールで下記宛にお申込下さい．受付の通知を返送いたしますので，通知書に記載した振込先口座に参加費をお振込み下さい．入金を確認後，通常2週間以内に領収書兼参加証を送付いたします．

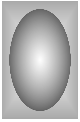
申込先：（財）千里ライフサイエンス振興財団シンポジウム（S11）係

〒560 0082 大阪府豊中市新千里東町1 4 2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL 06 6873 2001 FAX 06 6873 2002

E-mail sng-lsf@senri-lc.co.jp



第94回近畿生理学談話会のご案内

当番幹事 神戸大学大学院医学系研究科 細胞・
神経生理学 真鍋俊也

第94回近畿生理学談話会を下記の要領で開催
致します。多数のご参加をお待ち申し上げており
ます。

1. 日時：2001年9月8日(土)9:30～
2. 会場：神戸大学大学院医学系研究科 神緑会館
3. 演題と予稿集用原稿の締切：

2001年7月14日(土)(必着)

発表はすべて口演形式で行います。通常のスラ
イドプロジェクター1台とOHPを用意致しま
す。

口演時間は討論を含めて15分を予定しており
ます。(なお、筆頭著者は会員に限られますが、
共同発表者は会員である必要はありません。)

予稿集の原稿は、下記あてE-mailで添付文書
にてお送り下さい。書式はMSwordまたはテ
キストファイルをお願いします。「日生誌用
抄録」としてそのまま使用しますので、600字
以内(演題、所属、氏名を含む、図表は不可)
で、B5の枠内に入るようお願いします。

E-mail: physiol@med.kobe-u.ac.jp

また、別に打ち出した原稿を郵送して下さい。

E-mailをご使用でない先生は、3.5インチフロ
ッピーディスクでご提出下さい。また、その際
も別に打ち出した原稿を郵送して下さい。

4. 評議員会：

昼食時に開催致します。場所は神緑会館会議室
です。多数ご参加下さい。

5. 参加申し込み：

参加者および評議員会出席者の御氏名を、なる
べく教室、研究室単位で、別紙にご記入の上、
2001年7月31日(火)までにお申し込み下さ
い。

6. 参加申し込み先：

〒650 0017 神戸市中央区楠町7 5 1

神戸大学大学院医学系研究科 細胞・神経生理
学 真鍋俊也

TEL：078-382-5362 FAX：078-382-5379

E-mail：physiol@med.kobe-u.ac.jp

参加申し込みはFAXまたは郵送でお願い致し
ます。

7. プログラム、予稿集の発送予定：

2001年8月中旬

8. 会費：

談話会参加費 3000円(予稿集代も含む)

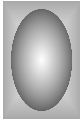
評議員会費 1300円(昼食代も含む)

会費はすべて前納でお願い致します。7月31日
までに郵便振替(同封)にてご送金下さい。

口座番号：00950-4-117834

口座名称：第94回近畿生理学談話会

住所、所属、職位など、誤りや変更などありま
したら、ご連絡いただければ幸いです。



「第10回日本バイオイメーキング学会学術集会」からのお知らせ

テ ー マ : 「分子の構造が生物機能を支配するか」
会 期 : 平成13年10月10日(水)~12日(金)
会 場 : 国立感染症研究所・会議室

営団地下鉄東西線早稲田, 都営地下鉄大江戸線
若松河田下車徒歩8分

地 図 :

<http://www.nih.go.jp/niid/welcome/maps-toya-j.html>

大 会 長 : 鈴木和男 (国立感染症研究所)

副大会長 : 船津高志 (早稲田大学),

霜田幸雄 (東京女子医科大学)

大会運営 : バイオイメーキング新宿フォーラム,
運営委員会

大会ホームページ :

<http://www.nih.go.jp/niid/bioimaging/congress-10.html>

参加費 (要旨集を含む) :

正会員 : 5,000円, 学生会員 : 3,000円,

非会員 : 7,000円

一般演題の応募

1. 演題申し込み締切 :

平成13年7月15日(日)

演題申し込み : 申し込み用紙に記載し, 下記の
いずれかでお送りください.

1) 郵送, 2) Fax : 03 5285 1160

3) e-mail : bioimage@nih.go.jp

(郵線などは不要 : 様式と同様の項目の記載が
あれば可)

* 7月20日までは, 申込書に記載の返信用あ
て先に受領書をお送りしますので, 受領書が未
着の場合は必ずご連絡ください.

* 尚, 一般演題は, 講演・ポスターを予定して
おり, シンポジウムへの組み込みも予定して
います. 発表形式は大会事務局へ一任ください. 英
語での発表も可能です.

* Presentation in English is acceptable in oral
and poster sessions.

See home page:

<http://www.nih.go.jp/niid/bioimaging/congress-10.html>

2. 日本語要旨集原稿締め切り : 8月15日(水)

1) 日本語B5で2枚以内

2) 英文誌Bioimages掲載用の英文Abstract
(A4半ページ : 大会当日持参)

連絡先

第10回日本バイオイメーキング学会大会事務局

鈴木和男・代田和恵

〒162 8640 新宿区戸山1 23 1

国立感染症研究所・生物活性物質部内

Tel : 03 5285 1111 2329

Fax : 03 5285 1160

E-mail : bioimage@nih.go.jp

ホームページ :

<http://www.nih.go.jp/niid/bioimaging/congress-10.html>

スケジュール

10日(水)

シンポジウム 1 (公開シンポジウム)

「人や生物のからだの中を見るバイオイメー
キング」

オーガナイザー :

川西 徹, 南谷晴之, 高松哲郎, 他

1) 人体を非破壊で見る

2) 個体の発生過程をダイナミックに見る

3) 細胞の活動を見る

4) 細胞の動きの不思議

11日(木)

国際フォーラム「分子異常の生物・医学」

オーガナイザー : 鈴木和男 他

「分子異常と生体機能を分子構造から見る」

Marisa Jaconi (Geneva), Wanda Reynold

(UCLA) 他,

* 国際フォーラムでも一部公募も行っています
でご応募ください.

特別講演 1 :

「微細構造に顕れる分子の異常動態」

オーガナイザー・座長：石川春律

シンポジウム 2 :

「新技術フォーラム」

オーガナイザー・川戸 佳, 太田善浩

シンポジウム 3 :

「分子構造から見た生物の機能」

オーガナイザー :

安岡則武, 柏木 浩, 田之倉 優

一般演題・ポスター

ベストイメーჯ賞

懇親会(食堂) 4,000円(学生2,000円)

12日(金)

特別講演 2 :

「分子機能異常がもたらす生体機能」

オーガナイザー・座長：脊山洋右

シンポジウム 4 :

「生体機能からみた分子の動態」

オーガナイザー：末松 誠, 大塩 力,

シンポジウム 5 :

「生体機能分子の動態をとらえる」

オーガナイザー：船津高志, 寺川 進, 他

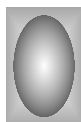
総会

奨励賞受賞講演：太田善浩

座長：奥山典生

一般演題・ポスター

ベストイメーჯ賞



第52回西日本生理学会

開催日：平成13年10月13日(土)14日(日)

場所：琉球大学医学部臨床講義棟

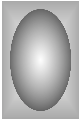
参加申し込み締め切り：平成13年8月3日(金)

連絡先：琉球大学医学部生理学第一講座

TEL：098 895 1108(直通),

FAX：098 895 1402

E-mail：physiol1@med.u-ryukyu.ac.jp



膜シンポジウム 2001

膜シンポジウム 2001 を下記の要領で開催いたします。生体膜，生体機能模倣膜，人工膜等，膜に携わるあらゆる研究者が“膜機能の探究 生体膜から人工膜まで”の主題の下に一堂に会し，膜に関する基礎から応用までの広い範囲にわたる研究発表をお寄せ頂き，膜科学，膜技術の発展に貢献いたしたく考えております。このため，発表時間は一件当たり 25 分（発表 15 分，討論 10 分）を予定いたしており，シンポジウム参加者全員による十分な討論を行う予定であります。

開催日：2001 年 11 月 29 日（木）～ 30 日（金）

場所：京都大学薬学部記念講堂

〒606 8501 京都市左京区吉田下阿達町 46 29

研究発表申込締切：8 月 10 日（金）必着

発表申込は原則として電子メールにて行っていただきます。

研究発表題目，所属・研究者（発表者に 印），発表内容（200 字程度），連絡先（氏名，所属，住所，電話，FAX，E-mail）。（テキスト形式で送信すること。添付書類を用いての送信はしないこと。Binary 形式は不可。）

講演要旨原稿締切：10 月 5 日（金）必着

執筆要領は研究発表申込者に後日，採用通知と共に送付いたします。

申込・問合せ先：

〒606 8585 京都市左京区松ヶ崎

京都工芸繊維大学高分子学科 吉川正和

（TEL：075 724 7816；FAX：075 724

7800；E-mail：masahiro@ipc.kit.ac.jp）

主催：日本膜学会

参加要領：

1) 参加費：主催・協賛学会員 6,000 円（当日 7,000 円），非会員 9,000 円（当日 10,000 円），学生 2,000 円，法人（25,000 円，5 名まで参加可）

2) 懇親会：11 月 29 日 18：30 より京大会館特別室にて会費 5,000 円（当日 6,000 円）

3) 参加申込：原則として電子メールにて行っていただきます。

氏名・所属・連絡先・懇親会参加の有無，を明記の上，上記の電子メールアドレスまでお申し込み下さい。なお，準備の都合上，シンポジウム，懇親会共できるだけ事前に申し込み下さいますようお願い申し上げます。事前申し込みの締切は 11 月 2 日（金）です。参加費，懇親会費用の郵便振替 00910 4 86090 膜シンポジウム 2001 をお願いいたします。